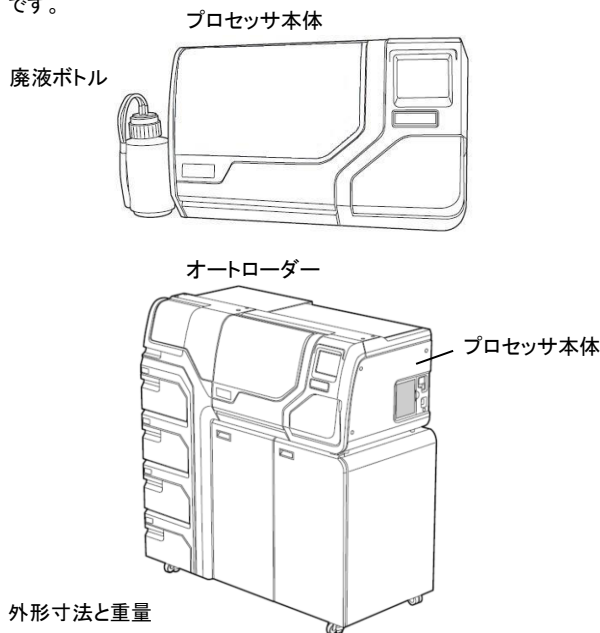


*【警告】

- ・動作中に可動部に触れ、巻き込まれないように充分注意すること。
- ・スライドガラスは先端が鋭利な上、保管パッケージ内や装置上で破損することがあるので、スライドガラスを取扱う際、本品を清掃する際には十分に注意すること。
- ・気化アルコールにより、火災が発生する恐れがあるので、引火性のあるものは近づけないこと。
- ・本品に使用するバイアル(プレザープサイト液)はメタノールを含有しているため、適切な保護具の着用と換気等の作業環境を整えた場所で作業すること。
- ・安全性および取り扱いに関する指示については、安全データシート(SDS)を参照すること。

【形状・構造及び原理等】

本装置は、病理検査の細胞診断に用いられる塗抹標本作製するものです。



外形寸法と重量

プロセッサ本体:

高さ 102cm × 幅 102cm × 奥行き 92cm (開扉時) 重量 84kg

オートローダー:

高さ 145cm × 幅 137cm × 奥行き 71cm 重量 300kg

廃液ボトル : 高さ 43cm × 直径 15cm

電氣的定格

機器名	プロセッサ本体	オートローダー
交流・直流の別	交流	交流
定格電圧	100-120V	100-120V、220-240V
周波数	47-63Hz	50/60 Hz
電源入力	最大200W (200VA) 約2A	100~120Vのとき、約6A 220~240Vのとき、約2A

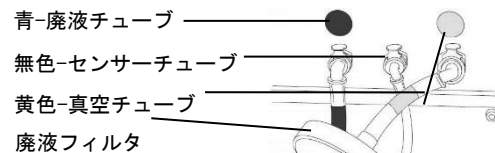
原理

検体が含まれているプレザープサイト液バイアルを、分散ウェル内で回転させることで、バイアル内の溶液が攪拌され、細胞が分散します。細胞が分散したプレザープサイト液バイアルにトランスサイトフィルタを入れ、吸引することで、細胞がトランスサイトフィルタのフィルタ部に付着します。細胞の収集は液の流速を監視するソフトウェアが制御するため、最適な細胞がフィルタ部に付着します。細胞がフィルタ部に付着した後、トランスサイトフィルタを反転させ、フィルタの上方に固定していたスライドガラスにフィルタ部を押しつけることで、フィルタ部に均一に分散して付着していた細胞がスライドガラスに移行し、塗抹標本作製されます。

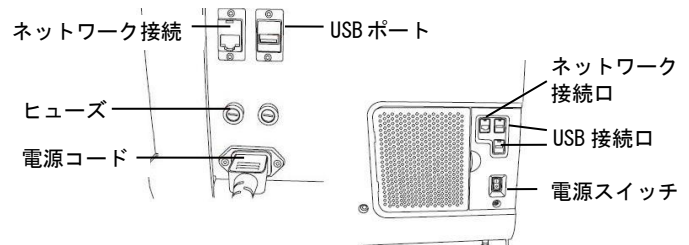
【使用目的又は効果】

病理検査の細胞診の塗抹標本作製する。

*【使用方法等】



- 1) 廃液ボトルをプロセッサ本体と同じ高さか低い場所に置き(オートローダーがある場合には、廃棄キャビネット内に置くことができる)、キャップをしっかりとめてください。キャップから出ている廃液チューブ、真空チューブ、センサーチューブを、プロセッサの背面に接続します。



- 2) 背面にある差込口に電源コードを挿入し、扉が全て閉まっていることを確認し、右側面の電源スイッチを入れます。システムが立ち上がり、メインの画面がタッチスクリーンに表示され、使用出来る状態になるとロゴが表示されます。圧力タンクに圧力がかかり、アーム、カラーセル等が作動し定位置に移動し、ドアのロックが解除されます。(オートローダーが接続されている際は、オートローダー背面の電源スイッチは常に入れておき、プロセッサの電源スイッチで電源をオン又はオフにしてください。)

(オートローダーを使用しない場合: 小バッチモード)

詳細は取扱説明書(ThinPrep5000 プロセッサオートローダー付オペレータマニュアル)を参照してください。

(オートローダーを使用する場合: オートローダーモード)

- 1) スライドカセット内にスライドガラス、検体バイアルトレイにプレザープサイト液バイアル、フィルタトレイにトランスサイトフィルタをセットし、オートローダーの所定の位置に装着します。固定液槽及び染色ラックのセットは小バッチモードと同じです。フィルタ廃棄箱及びスライド廃棄箱を確認し、スライド及び使用済みトランスサイトフィルタを捨て、元の位置に戻します。

2)空のカルーセルをプロセッサの操作扉を開けて所定の位置に装着します。プロセッサの後ろの壁に当たって止まったとき、適切な位置に固定されています。

3)扉を全て閉じ、タッチスクリーンを使って操作を開始します。詳細は取扱説明書(ThinPrep5000 プロセッサオートローダー付オペレータマニュアル)を参照してください。

4)「Start」ボタンを押すと、ドアが音とともにロックされ、プロセッサが自動的に操作を開始します。

5)処理中の操作を中断したい場合は、「Pause」ボタンを押します。

6)バイアルトレイ 1 が完了すると、タッチパネルにバイアルトレイ 1 の処理が完了したことが示されます。そのバイアルトレイ 1 の View Report(レポートの表示)ボタンが使用可能になります。システムは次のバイアルトレイの処理に進みます。

7)すべてのバイアルトレイの処理が完了すると、タッチパネルに「Processing complete(バッチの完了)」メッセージが表示されます。この表示はすべての処理が完了したことを示します。「OK」を押すと、Processing complete の画面になります。

8)検体バイアルトレイ、固定液槽を取出し、フィルタ廃棄箱のフィルタを廃棄します。固定液槽からスライドラックを取り出し染色を施します。タッチパネルでアプリケーションを終了し、装置の電源をオフにします。

*【使用上の注意】

- 本装置の使用前に取扱説明書(ThinPrep5000 プロセッサオートローダー付オペレータマニュアル)を必ず読んでください。
- フィルタは一回限り使用し、再使用しないでください。
- ThinPrep5000 プロセッサには、プレザーブサイト液以外の検体採取・保存液を使用しないでください。また専用のものを使用下さい。
- 最良のスライド作成結果を得る為に、処理検体に合った正しいタイプのスライドガラスとプレザーブサイト液バイアルを使用してください。
- 廃液ボトル、フィルタ廃棄容器/廃棄箱、スライド廃棄箱は空にしてから、操作を開始し、またバッチ毎に空にしてください。
- 固定液の気化アルコールにより、火災が発生しないように注意してください。
- 内部にレーザ装置が含まれています。ドアを開けたまま、あるいはパネルを外した状態では決して作動しないでください。
- 本装置に付属の電源コードは本装置以外には使用できません。
- 接地コンセントは本品を安全に稼働させるため、3極接地コンセントを使用し、電源ユニットから取り外す際は、電源コードを抜くこと。

*【保管方法及び期間等】

トランスサイトフィルタの有効期間は 2 年です。

プレザーブサイト液及びサイトライト液の有効期間は 2 年です。

貯蔵方法として、過度の熱、発火源から離れた場所で 15～30℃で保管します。容器のふたを閉じ、衝撃から保護してください。

【保守・点検に係る事項】

取扱説明書(ThinPrep5000 プロセッサオートローダー付オペレータマニュアル)に記載のとおり、定期的にメンテナンスを行ってください。

- ・毎日廃液ボトルを点検し、液面が容器の「最大(MAX)」マークに達する前に空にします。適宜廃液ボトルは空にして下さい。
- ・固定液は毎日、または 100 スライド毎に交換してください。
- ・必要に応じ吸収パッドを交換して下さい。
- ・雫受けは取り外して適宜きれいにしてください。

取扱説明書に記載されていない保守・点検に係る事項については、販売業者にお問い合わせください。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者:

ホロジックジャパン株式会社

TEL 03-5804-2340

外国製造業者:

ホロジック社(米国)

Hologic, Inc.

<サイバーセキュリティに関する情報請求先>

お問合せページのアドレス:<https://hologic.co.jp/contact.html>

電話番号:0120-346-058